

卓越した技術者（現代の名工）（2018 年度）

第 1 部門（金属材料製造の職業）

佐藤 良一 (株)神戸製鋼所 高砂製作所

電気炉、二次精錬炉での溶解・精錬に関する技能に卓越しており、当社 100 t 電気炉における耐火物修理頻度低減、安価 CrMo 屑使用量拡大、およびフッ素含有 ESR スラグの VOD でのリサイクル、などの活動によって当事業部の収益改善や産廃量低減による地域社会への貢献を果たしてきた。

現在も後進の指導に励み、技能継承、安全・品質・コストの改善に優れた実績を上げ、多大な貢献をしている。

中原 秀士 (株)神戸製鋼所 加古川製鉄所

連続铸造設備の操業技能に卓越し、タンディッシュ（連続して铸造することを可能とする為の容器）を熱間で繰返して使用する画期的な操業技術を世界で初めて実用化させた。また、タイヤコード鋼（タイヤの中に編み込まれる極細径ワイヤー）を安定して製造できる不純物の少ない鋼の生産体制を確立した。

現在は、連铸操業のノウハウの見える化の推進を取り纏めるとともに、後継者に対して操業技術の指導・育成に貢献している。

片岡 慶児 新日鐵住金(株) 鋼管事業部 尼崎製造所

継目無し鋼管の冷間加工に関する技能に卓越し、製造工程・プロセス改善（抽伸加工時における潤滑剤散布条件定義の確立による外面疵の低減、管切作業の省力化に資する自動化設備の開発）等を行い、品質の安定化、大幅な生産性向上に寄与した。また、人間工学に基づいた作業改善を積極的に取り入れ、女性でも鉄鋼現場作業で活躍できる就業環境整備にも尽力した。

現在は、安定作業ルール遵守の大切さの指導に力を入れながら、後進技能者の育成に貢献している。

有本 好秀 (株)神戸製鋼所 高砂製作所

自由鍛造プレスにより製造された船用大型鍛鋼品の熱処理作業に従事し、製品ごとに要求される機械的性質を満たす為に、製品形状や成分から、各々に合った適切な熱処理条件（温度・時間）を設定できる豊富な知識と卓越した技能を有している。

現在は、熱処理部門の係長として安全・品質・コストの改善業務に携わりつつ、自らの技能を次世代に継承すべく若手への指導にも尽力し、多くの後継者を育成している。

村田 正行 JFE スチール(株) 西日本製鉄所倉敷地区

熱延鋼板の圧延に関する深い知識と高い技能を活かし、設備の定期修理時間の削減や歩留向上等、圧延効率の向上に徹底して取り組み、倉敷熱延工場の生産量・収益向上に寄与した。また、難圧延材の安定製造技術の確立等、新技術の導入に際しても各種検討の中心となって大きく貢献してきた。

さらに、操業面だけではなく現場の統括としても、社員の多能工化の推進やベテラン社員や女性社員といった多様な人材の積極活用により、若返りが進む当職場において人材育成の基盤を築いた。

第2部門（金属加工の職業）

三上 秀昭（㈱神戸製鋼所 高砂製作所）

中速機関用クランク軸の機械加工のうち、仕上げ加工を行う旋盤加工業務に長年従事し、高い知識と技能を有している。加えて、実作業だけに留まらず機械加工時に発生する本製品の独特な挙動を考慮した数値制御機械加工の導入を担当し、自動計測・自動運転を可能とするシステムを考案・実現することで生産体制を革新させた。

現在は、係長として、その豊富な知識と経験をもとに後進の成長・能力発揮を最大限推進している。

第3部門（金属溶接・溶断・めっき工、その他の金属加工等の職業）

佐藤 俊治（新日鐵住金㈱ 鹿島製鐵所）

入社以来、大径管工場溶接職場の操業管理に従事。幾多の考案・改善により大幅な操業能率・品質改善に貢献。また、合計4年に渡りサウジアラビアにあるナショナルパイプカンパニーにて、新ミルの立上げ・品質改善に加えトレーサビリティシステム構築にも携わった。

現在は、経験で培った品質改善手法およびトレーサビリティ手法を小径管工場にて大いに発揮している。

第4部門（一般機械器具組立・修理の職業等）

藪口 義雄（㈱神戸製鋼所 高砂製作所）

回転機械の製造に長年従事し、特に大型ターボ圧縮機の政策において、組立・運搬据付に関する優れた技能により、品質・生産性・安全性の向上に寄与した。また、当社の圧縮機を世界に信頼される製品に育て上げ、事業の発展にも大きく貢献した。

現在は、回転機械の組立係長として生産業務の管理・作業改善業務に携わるとともに、自らの技能を次世代に継承すべく、中堅・若手技能者の指導・育成に尽力している。

田中 秀樹（新日鐵住金㈱ 広畑製鐵所）

熱延機械整備に長年従事し、熱延工場を中心に、機械設備の安定稼働を図るだけではなく、鋼板の品質や生産性向上にも寄与する設備改善の技能に卓越している。特に、仕上圧延機に導入した世界初のロールペア・クロス方式の整備技能を有し高い評価を受けるとともに、協力会社を含めた後進技能者への積極的な育成・指導においても多大な貢献をしている。

西郷里 公典 新日鐵住金(株) 大分製鐵所

製鐵所における多種多様な設備異常に対し、複数の診断機器を適切に組み合わせた新たな診断方法を確立して異常個所の特定や劣化程度を正確に把握する技能に卓越し、計画的かつ効率的な補修や設備の弱点部位の改善により、設備の長寿命化、安定稼働に貢献した。

現在は、設備診断員として先頭に立って診断業務を実践するとともに、実技訓練や勉強会で自身の技能の若手への伝承に精力的に取り組んでいる。

井上 泰志 新日鐵住金(株) 大分製鐵所

高炉設備に発生する機械的摩耗、反応ガスによる腐食、高温溶融物による溶損など、原因、現象が多岐にわたる異常に対し、計器数値の僅かな変化や五感点検結果から異常の兆候を捉え、未然に故障を防ぐ技能に卓越しており、機械故障による高炉停止時間が1時間／月以下という安定稼働の継続に大きく貢献した。

若手とペアで設備点検、補修業務を行い自身の技能伝承に努めるとともに、後進の自主管理活動の指導にも日々尽力している。

第5部門（電気機械器具組立・修理及び電気作業関係の職業）

長谷川 忠明 新日鐵住金(株) 名古屋製鐵所

47年間にわたり、製鐵所にて用いる大型電動機を主とした電気機器補修および技術管理に従事している。電動機の絶縁に関する卓越した技能をもって、診断技術開発および劣化状態を大幅に回復させる補修工法を実用化し、電気設備の安定化と設備延命に多大な貢献を果たしてきた。

また、学会への技術報告や講演を通じて、その技術は社会的に高い評価を受けるとともに、社内外において技術指導者として後進への技能伝承に努めている。

香取 泰助 新日鐵住金(株) 鹿島製鐵所

入社以来、鉄鋼プラントにおける計装設備の保守整備に従事。技能・知見を活かし、幾多の考案・改善により、鉄鋼プロセスにおける品質向上、歩留まり向上、省エネ、安定稼働、保守性の向上に寄与した。

現在は、設備管理のみならず、安全、環境、防災、品質の向上に関する取り組みを推進しており、また、急激な世代交代が進む中、後進の指導、人材育成システムの再構築にも尽力している。

第20部門（その他の職業）

福江 敦志 新日鐵住金(株) 和歌山製鐵所

鉄鋼製造プロセスにおいて大量に発生する副生ガスを、爆発やガス中毒を起こすことなく安全に蒸気や電気に変換し、各工場へバランスよく供給する副生ガス管理に卓越した技能を有している。

また、日本で初めて排熱温度域毎に回収条件を変化させるカスケード型排熱回収ボイラーにおいて、間欠で発生する蒸気の有効利用を考案・実施し、製鉄所内の蒸気運用の安定化に大きく貢献している。